

在宅血液透析手技評価と治療継続率の関連に関するお知らせ

このたび、在宅血液透析手技評価をうけた在宅血液透析患者さんを対象に以下の研究を実施いたします。

本研究は、病院 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2015 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日の期間に埼玉医科大学病院で在宅血液透析をうけ、在宅血液透析手技評価を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

在宅血液透析には多くのメリットがありますが、その普及率は低く、治療継続率の低さが課題となっています。

在宅血液等透析の治療効果と安全性を確保するためには、患者さんおよび介護者には一定期間の教育訓練とその内容を理解し実施できる能力が必要です。在宅血液透析をうける患者さんは、導入時に標準手技や緊急時の対応について教育を受けますが、加齢や身体能力の変化により、指導内容を適切に実行することができなくなる可能性があります。指導内容の遵守率の低下は、HHD 早期離脱や有害事象の発生に影響することが報告されています。

当院では在宅血液透析患者さんに対し、在宅血液透析手技評価を実施し、標準手技・緊急時対応に関するマニュアルの遵守状況について調査しています。今回の研究は、在宅血液透析手技評価の結果と在宅血液透析治療継続率の関連性を検証することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 1 月 20 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

研究に用いる情報は以下の診療記録および検査データです。

1) 研究対象者背景

年齢, 性別, 腎不全の原因, 合併症, 透析および在宅血液透析開始日, 治療終了日, 治療期間, 透析方法 (透析回数, 透析時間), バスキュラーアクセスの種類, 穿刺法

2) 在宅血液透析手技評価の実施日および点数

3) 血液検査結果

※この研究で得られた患者さんの情報は, 埼玉医科大学病院において, 研究責任者である岡田浩一が, 個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため, 患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

埼玉医科大学病院の電子カルテから, 診療記録および検査データを取得します。

3. 試料・情報を利用する者

埼玉医科大学病院 腎臓内科 教授 岡田浩一

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合, あるいはご質問がある場合には, 以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は, 研究に用いられることはありません。

ただし, ご連絡いただいた時点で, 既に研究結果が論文などで公表されていた場合, 結果などを廃棄することができないことがありますので, ご了承ください。

埼玉医科大学病院 腎臓内科 友利浩司

住所: 〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話: 049-276-1611 (土日祝日を除く 8:30~17:30)

メールアドレス: tomori.koji@1972.saitama-med.ac.jp

○研究課題名: 在宅血液透析手技評価と治療継続率の関連

○研究責任者: 埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田浩一